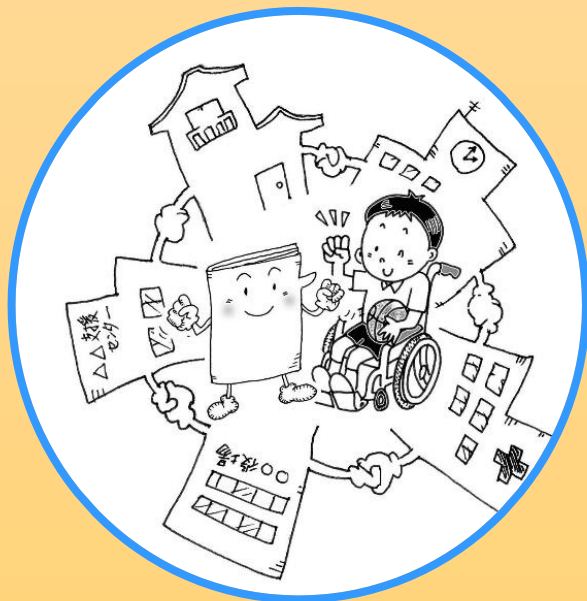


香川県立高松支援学校 個別の教育支援計画



子どもたちの
より豊かな生活の
実現を目指して

個別の教育支援計画とは・・・

個別の教育支援計画とは、本人や保護者の希望を踏まえ、障害のある児童生徒一人一人に必要とされる教育的ニーズを関係機関(教育、医療、保健、福祉、労働等)と連携して正確に把握し、幼児期から学校卒業までを通じて一貫して適切な支援を行うことを目的として作成されます。

【香川県教育委員会「すべての教員のための特別支援教育ハンドブック」より】

子どもたちの将来に繋がる
大切な計画書です

A より豊かな生活をイメージして、教育的ニーズを整理するためのツール

B 連携のためのツール

C 必要な支援を引き継ぐためのツール



POINT①

A「より豊かな生活をイメージして、 教育的ニーズを整理するためのツール」



個別の教育支援計画を作成する前に、まずは本人・保護者・担任で「より豊かな生活」をイメージします。

そして、そのために必要な支援について、本人・保護者・担任が話し合いながら、個別の教育支援計画を作成します。



現在の願いや課題を知り、「より豊かな生活」の実現のために必要なこと（教育的ニーズ）を考えます

本校様式：個別の教育支援計画Ⅰ

個別の教育支援計画 Ⅰ	
〇〇部 〇 年	
香 川 県 立 高 松 支 援 学 校 作成者氏名 ④ 令和 年 月 日	
(困っていることなど) 現在の課題	本人 保護者 現在の生活の充実や将来のより豊かな生活の実現に向けての課題について記入します
(つきたい力など) 現在の願い	本人 保護者 より豊かな生活の実現に向けて取り組んでもらいたいことや、支援してほしいことを記入します
児童生徒のニーズを踏まえた長期支援目標	
教育的ニーズを踏まえた長期支援目標を記入します	
連携する関係機関等	連携の記録・履歴

本人や保護者の
現在の課題(困っていること)
現在の願い(つきたい力)
を明確にします

教育的ニーズを考え、本人・保護者・担任で「より豊かな生活」のイメージを話し合います



実現のために必要な
教育的ニーズを踏まえた長期支援目標
を立てます

必要な連携機関を書き出し、
実際に行った連携の履歴を記入します

教育的ニーズって？

子どもの「より豊かな生活」の実現のために必要なことを教育的ニーズと言います。

つまり、自立と社会参加を見据え、その時点でその子どもに最も必要な教育のことです。そこで、整理するポイントを以下の3点を参考とし、教育的ニーズの整理を行っています。

<整理するポイント>

- ①障がいの状態等の把握
- ②その子どもにとって特別に必要な指導内容
- ③合理的配慮を含む支援内容

【文部科学省「障害のある子供の教育支援の手引」より】

より豊かな生活

教育的なニーズ

本人の今の生活



POINT②

B「連携のためのツール」



子どもの「より豊かな生活」を実現するためには、学校だけでなく、広い視野で子どもの生活を把握し、支援していく必要があります。

校内の関係者や校外の関係機関と情報交換するだけでなく、それぞれの立場でできることを話し合い、役割分担するためのツールとしても個別の教育支援計画を使っています。

高松支援学校では、個別の教育支援計画を校内・校外の会議に持ち込み、校内・校外関係機関との連携ツールとして活用をしています。

児童生徒を支援する関係者・機関が集まり、個別の教育支援計画をもとに、支援目標や支援内容について情報を共有します。そして、支援目標に対して、具体的に「誰が」「いつ」「何をするのか」といった支援の役割分担まで話し合います。

<校内における活用例>

- ・前期・学年末懇談会
- ・自立活動室との打合せ
- ・医療的ケア児の連絡会
- ・寄宿舎生の連絡会

<校外の関係機関を含む会議等での活用例>

- ・サービス担当者会議
- ・PT・OT・STなどのリハビリ見学
- ・現場実習や進路に関する会議
- ・ケース会議

**「より豊かな生活」の実現のために、
学校・家庭・関係機関が連携した具体的な計画を立てます**
本校様式：個別の教育支援計画Ⅱ

個別の教育支援計画Ⅱ				
〇〇部 〇年 高松 太郎		香川県立高松支援学校 作成者氏名 〇 令和 年 月 日		
短期支援目標	支援の内容			
	学校・家庭	担当	福祉・医療・労働等	機関名担当者名（年月日）
支援目標に対して、誰が、いつ、何をするのかを具体的に決めます 個別の教育支援計画Ⅰの「児童生徒のニーズを踏まえた長期支援目標」に対応した短期支援目標を記入します	学級、家庭での支援内容を保護者と話し合い、それぞれが行う手立てや配慮を記入します 連携して支援を行う教科担任、自立活動室、寄宿舎、学校看護師等校内関係者が行う手立てや配慮を記入します		短期支援目標に対応した校外の関係機関(放課後等デイサービス、ヘルパー、PT、OT等)の支援内容や支援を行う機関名、担当者名を記入します	
支援の評価・今後の課題・引継ぎ事項				
・年度末に、一年間取り組んだ支援内容や配慮事項が含まれた短期支援目標の評価を記入します ・短期支援目標について、関係機関の取り組みの状況が分かる範囲で記入します				

より豊かな生活を考えるヒント

「より豊かな生活」を考える際に大切なことは、将来を漠然とイメージするのではなく、〇年後の「より豊かな生活」について具体的に考えます。小学部に入學したばかりの児童であれば、2、3年後の生活のイメージになりますし、高等部の生徒は、間近に迫った卒業後の生活を見据えたイメージになります。

また、以下の2つの視点を加えることで、より具体的な生活をイメージすることができます。

- ①現在の生活における課題を解決することで、自分らしく輝ける生活ってどんな生活ですか？
- ②社会参加や自立に向けて、本人の得意なことを活かして、どんなことができるようになると思いますか？

